

農業委員会だより



春の香り漂うひろっこ

まだ雪深い2月下旬、大森町峠町の村上金悦さんの畑では、ひろっこの収穫が始まりました。

固雪のうえを歩いて進むと、2mを超える雪を掘り起した畑に、あさつきの若芽ひろっこが顔をのぞかせていました。「今年は、例年以上の降雪で雪を掘り起こす作業にひと苦労しましたが、収穫が始まると春の訪れを感じます。」と話してくれました。雪の下で育つひろっこは、黄白色で香りが良く、さっと火を通すとシャキシャキとした食感が特徴です。

目次

| | |
|-------------------------------------|-----|
| ■ 農業委員会活動情報 | 2~3 |
| ■ 農業者年金 | 3 |
| ■ 農地Q & A | 4 |
| ■ 農業振興地域整備計画の 変更(除外)について | 4 |
| ■ 横手市賃借料情報 | 5 |
| ■ 農地移動の許可申請について | 5 |
| ■ 第12回横手食育見聞録 作文・図画コンクール=最優秀賞作品= | 6 |
| ■ 編集後記・全国農業新聞 | 6 |

農業委員会活動情報

農業委員会が行っている、地域の農政を推進するための取り組みをお知らせします。

小学生が考える食と農業

横手市食育見聞録 作文・図画コンクール



今年で12回目となるこのコンクールは、食について考える習慣を身につけ、生涯を通じて健全な食生活の実現に向けて、毎年、市内の小学5年生を対象に実施しています。
今年度は、作文201作品、図画

379作品の応募があり、子どもたちならではの感性で、農業について感じていることや、農業体験を通じて得たことなどを作品に表現してくれました。

審査会は、農業委員会の食農教育推進委員9人と、教育委員会の協力を得て専門審査員2人をお願いし、3月1日に行いました。

審査結果をお知らせします。また、最優秀賞作品については6ページに掲載しています。

◆作文の部

最優秀賞

雄物川小学校 5年 阿倍 杏実さん

優秀賞

横手南小学校 5年 東谷 優香さん

朝倉小学校 5年 伊藤 美緒さん

雄物川小学校 5年 佐藤 湮鈴さん

雄物川小学校 5年 柴田 聡美さん

十文字第一小学校 5年 黒澤 奏来さん

◆図画の部

最優秀賞

浅舞小学校 5年 菅原 義基さん

優秀賞

栄小学校 5年 伊藤 七瀬さん

浅舞小学校 5年 貴俵 明凛さん

雄物川小学校 5年 高橋 咲愛さん

雄物川小学校 5年 佐藤 風香さん

十文字第一小学校 5年 近 陽葵さん

活発な意見交換

市長と農業委員

意見交換会

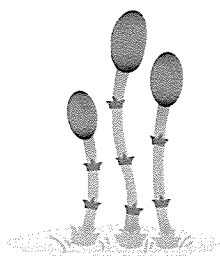
2月2日、市長と農業委員との意見交換会を開催しました。

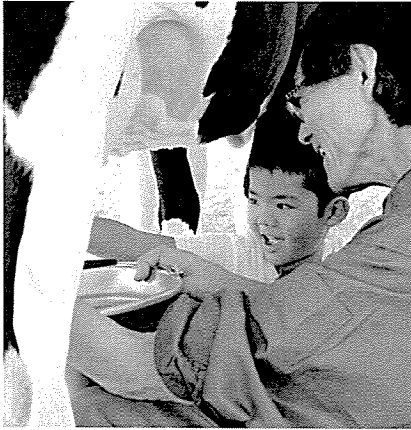
意見交換会では、初めに横手市長から、横手市の農業施策の方針について説明をいただきました。果樹強化に対する取り組みや複合産地日本一を目指すため、横手の農業生産力をいかにアップさせるかなどの思いを語っていただきました。



農業委員からは、色彩選別機の導入事業など、非常によい事業があるので、より多くの農家が活用できるように広く周知してもらいたい。ほかに、畜産農家の現状についてなど、幅広く活発な意見交換が行われました。

農業委員会では、地域の農業者の代表として、今後も市をはじめとする関係機関へ、施策提案等を行ってまいります。





この取り組みは、県牛乳普及協会と横手市農業委員会によるもので、農業委員で酪農家の千葉肇さんが飼育する雌牛「ラストイー」が小学校へ運ばれ、クイズ形式で牛のことを学んだ後、千葉さんに一人ずつ丁寧に搾乳の仕方を教わって乳搾りに挑戦しました。はじめは牛の大きさに少し怖がっていた様子の子供たちでしたが、牛に触れると「温かくて気持ちいい〜」などと歓声をあげ、楽しそうな表情を見せてくれました。

本物の乳牛との触れ合いを通じて酪農の仕事や、命の大切さを学んでもらうため、9月19日に、大雄小学校で「わくわくモーモースクール」を開催しました。

小学生が搾乳を体験

牛の温かく触れる

知らない
と
損!

農業者年金(積立型) の税制優遇と保険料補助

ご存じですか?

保険料が全額社会保険料控除の対象なんです!

経営や家計の状況により保険料を上げたり下げたりできるんです!

青色申告等の要件を満たせば月額で最大1万円(年12万)の保険料補助※の仕組みがあるんです!

生計を一つにする配偶者や後継者の保険料を支払った場合は、その合計額(最高保険料6万7千円の場合は3人分で241万2千円)が経営主の所得から控除できます。

※ **保険料補助** を受けるには…

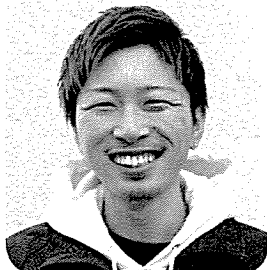
国民年金第1号被保険者などの農業者年金への加入要件に加え、

- **39歳までに加入**
- **農業所得が900万円以下**
- **下記の農業者の担い手要件**

を満たせば受けられます。

- ① 認定農業者で青色申告をしている人
- ② 認定新規就農者で青色申告している人
- ③ ①または②の要件を満たす経営主と家族経営協定を締結して経営に参画している配偶者、後継者など

知の
は
か
つ
た!



園部健太郎さん(平鹿)

農業者年金加入者の声

26年に新規就農し、枝豆とアスパラの栽培に取り組む園部さん。父親が認定農業者で青色申告を受けているため、家族経営協定を結び、国の補助がある政策支援加入を選びました。「月々の負担が少なく老後生活へ備えることができるし、貯金感覚で保険料を積み立てて安全に運用していただくことができるので安心です。」と話してくれました。

農業者年金の加入申し込みやお問い合わせは、農業委員会事務局またはJAへ。

農地 Q&A

農地を売るには？〈売却の方法とかかる税金って？〉

Q 私の所有する農地の一部を売りたいと考えています。農地を売却する方法と、売った場合どのくらい税金がかかるのでしょうか。

A 個人の方が、農地を売買する場合には、農業委員会の許可を受ける方法（農地法）と、市町村が定める「農用地利用集積計画」に基づき県公社売買事業を活用する方法があります。

農地（土地）を売った場合は、それによって生じた譲渡所得（譲渡益）に対して、所得税と住民税が課税させます。

譲渡所得税の計算方法

○譲渡所得金額＝譲渡による収入金額－（取得費＋譲渡費用）

○税額の計算

税額＝譲渡所得金額×税率（所得税 15%、住民税 5%）

※短期譲渡所得（取得後5年以内の売却）の場合の税率は、所得税 30%、住民税 9%。

※復興特別所得税も加算。



公社特例事業を活用して、地域の担い手などに売った場合には、その譲渡益から一定額が控除（特別控除）されます。

800万円の特別控除

農用区域内の農地を農業公社へ譲渡した場合。

1,500万円の特別控除

農用区域内の農地を農業経営基盤強化促進法に基づく、買入協議により農業公社へ譲渡した場合。

平成30年度の農業振興地域整備計画の変更（除外）について

市が定める農振計画で農用地域とされている土地に家を建てたり、農地以外の目的に利用しようとする場合は、農用地域から外すこと（農振除外）を市に申し出する必要があります。要件により除外が困難な場合がありますので、住宅建築などの計画がありましたら、事前にご相談ください。

なお、農地転用が必要な農業用施設については、用途変更が必要となりますが、用途変更の申し出は、下記の縦覧公告期間以外に随時受け付けします。

◎申出様式は、市のホームページからダウンロードできます。申し出を行っても申出地によっては除外できない場合があります。

◎許可を受けずに農地転用や開発行為を行った場合は、関係法令により罰せられますのでご注意ください。

◆平成30年度の農振計画定期変更スケジュール

| 期別 | 事前協議期間開始 | 申出期限 | 縦覧公告期間 | 計画変更日 |
|-----|----------|----------|---------|-------|
| 第1期 | 2月13日(火) | 4月13日(金) | 7月～8月 | 8月下旬 |
| 第2期 | 6月18日(月) | 8月17日(金) | 11月～12月 | 12月下旬 |
| 第3期 | 9月10日(月) | 11月9日(金) | 2月～3月 | 3月下旬 |

横手市賃借料情報

農地の貸し借りをを行う場合は、この賃借料情報を参考に当事者間の話し合いにより賃借料を決定して下さい。

(10a当たり)

| 地域 | 平均額 | (田) | (畑) | 総データ数 |
|-------|--|---------|---------------|-------|
| 横手 | 13,860円 最高額 (24,000円) 最低額 (3,700円) | 13,867円 | 12,076円 | 1,400 |
| 増田 | 12,950円 最高額 (19,000円) 最低額 (9,000円) | 12,939円 | ※1 15,000円 | 186 |
| 平鹿 | 14,252円 最高額 (25,000円) 最低額 (2,000円) | 14,286円 | 11,950円 | 2,404 |
| 雄物川 | 16,228円 最高額 (25,000円) 最低額 (1,000円) | 16,364円 | 8,432円 | 532 |
| 大森 | 13,912円 最高額 (20,000円) 最低額 (5,000円) | 13,908円 | ※1 14,538円 | 470 |
| 十文字 | 14,016円 最高額 (20,000円) 最低額 (3,000円) | 14,107円 | 10,756円 | 874 |
| 山内 | 9,209円 最高額 (17,000円) 最低額 (5,000円) | 9,209円 | ※2 — | 33 |
| 大雄 | 15,991円 最高額 (25,000円) 最低額 (1,000円) | 16,216円 | 8,104円 | 505 |
| 全地域平均 | | 14,548円 | | 6,404 |

★ データ数は、集計に用いた筆数です。

★ 平均額は、データ数による加重平均です。

※1 案件が少なく、その契約の賃借料を掲載しています。 ※2 案件なし

平成29年1月から12月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料情報となっています。

農地の売買や転用をお考えの方へ
農業委員会の許可が必要です
 申請から許可までのスケジュールのご確認を

農業者の皆さんが所有する農地を移動する場合、農業委員会の許可が必要です。

各種申請書の提出締切日と許可書の交付日は、原則下記のとおりです。
 締切日まで提出のあった申請は翌月総会（毎月15日頃）に上程されます。

| 申請内容 | 締切日 | 許可書交付日 |
|--|-------|--------------------------|
| 農地法第3条に規定する農地の権利移動 (売買、贈与、賃借など) | 毎月25日 | 総会終了後1週間以内 |
| 農地法第4条及び第5条に規定する農地の転用 | | 総会終了後1週間以内 または月末 |
| 農地経営基盤強化促進法に規定する農地の権利移動 (利用権設定、県公社売買) | 毎月20日 | 告示日（総会終了の翌日頃）後、 1週間以内 |

〈お問い合わせ・ご相談・申請書提出先〉

農業委員会事務局（条里南庁舎） ☎35-2172

増田地域課農業委員会担当 ☎45-5515

平鹿地域課農業委員会担当 ☎24-1118

雄物川地域課農業委員会担当 ☎22-2187

大森地域課農業委員会担当 ☎26-2116

十文字地域課農業委員会担当 ☎42-5119

山内地域課農業委員会担当 ☎53-2934

大雄地域課農業委員会担当 ☎52-2111

第12回食育見聞録
作文・図画コンクール

作文の部

最優秀賞作品



雄物川小学校
あずみ
阿倍 杏実さん

「農業を知る 地域を知る」

私は、家で母といっしょに野菜や花を育てています。育っていくのを見たり、収穫して食べたり、調理したりするのが楽しいです。

三年生の時の夏休みに、市報で実験農場で行われているフィールドデーの案内を見ました。実験農場という施設があることを知らなかったのですが、何をしている施設なのかに興味をもちました。そこで、フィールドデーに参加することにしました。フィールドデーでは、スイカの重さ当てや農場内の見学をしました。その中で、トウモロコシのもぎ取り体験が一番心に残っています。「朝

図画の部

最優秀賞作品



浅舞小学校
よしき
菅原 義基さん



ひいおばあちゃんと宝の畑

どり野菜はどうしてうまいのか」というテーマで朝の八時半ころに収穫をしました。朝にとったばかりのトウモロコシは、とても甘くておいしかったです。朝どり野菜がうまいのは、寒暖差で甘味が凝縮されているからだそうです。

見学してみても実験農場は横手の土地にどんな野菜が合うかを調べ、若い人にも農業をやってもらい、横手を元気にしようとしている施設だということを担当の方に教えてもらいました。

私は、農業は地域の活性化に結びついているのだと思いました。そこから農業と地域のつながりに興味がわきました。四年生の夏休みは、東成瀬村の特産品を使ったトマトピュレなどの加工食品について調べました。そして今年の夏休みは、二代目福治郎の「日本一高い納豆」のブランドの魅力について調べました。調べれば調べるほど、農業は地域の生活と深く関わっていて、生きるために絶対なくてはならない大切な物だと思いました。もっと農業について深く知りたいとも思いました。私は、農業を知ることが地域を知ることだと思えます。次はどんなテーマで調べていこうか、期待に胸が高鳴っています。

編集後記

三十年ほど前、カリフォルニアの日系農家で働いていたことがあり、久しぶりに当時の仲間と農場を訪ねてみました。昔、畑だった所は住宅が建ち並び、月日の流れを感じました。

農場は山のほうに規模が小さくなって残っており、現在は、次男が後を継いでいて「アメリカの農業もいろいろと厳しい」と語っていました。周りの農家も現状は似ており、グローバルな世界で戦うことの大変さを見る思いでした。

当時の農場主は現在93歳でしたが、今でもベントンを運転し、週に一度は友達とカジノに行くそうです。その元気な姿に驚き、こちらでも元気を頂くことができ、明日からまた頑張ろうという気持ちになりました。

農政情報策定委員

横手地区 高橋 尚也

全国農業新聞

週刊 月4回 金曜日発行

購読料 月700円(税込)

購読申し込みは、地域局地域課または農業委員会事務局へ